

GREEN ニュース

行動する
環境アドバイザーの会報

第67号

環境アドバイザー連絡協議会
代表 須永 徹
平成 28 年 9 月 発行



小 菊 の 里

伊勢崎市（旧赤堀町）の遊休地を活用し菊を植えています。（付近の老人施設の人も楽しんでいます）

群馬県環境アドバイザーの動き

（平成 28 年 9 月 20 日現在）新規登録 43 名

第 10 期（登録期間：平成 27 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）
です。新規登録者を含め平成 28 年 9 月 20 日現在、男 181 名
女 73 名、計 254 名です。

自然環境部会 61 名 温暖化・エネルギー部会 42 名
ごみ部会 38 名 広報委員会 19 名が登録し活動されています。
送付方法、メール 130 名 封書 124 名

目次（執筆者）

表紙画像・文 西村 豊（太田市）

P2 環境政策課

P3 須永代表、吉澤副代表から

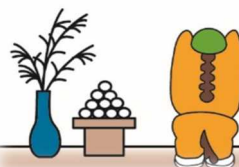
P4 ごみ部会、自然環境部会から

P5 温暖化・エネルギー部会から

P6 地域 太田市 西村さん、須永さん

P7 地域 高崎市 田中 和夫さん

P8 研修会報告、みんなのごみ減量フォーラム開催案内



レジ袋削減のための店頭啓発活動の実施にご協力ください

群馬県環境にやさしい買い物スタイル普及促進協議会では、レジ袋の削減を目的とした店頭啓発活動を平成28年10月から平成29年3月にかけて実施しますので、ご協力をお願いします！！

・店頭啓発活動の取組をお願いします

群馬県環境にやさしい買い物スタイル普及促進協議会は本協議会も構成員となっており、平成28年5月24日に開催された第4回同協議会総会では、須永代表と吉澤副代表に以下の様な発言をいただきました。事務局では各地域での積極的な取組を期待しております。

「（同協議会として）レジ袋削減の取組は継続していく必要がある。」（須永代表）

「安中地区での活動を通して、一部スーパーではマイバッグ持参率が50%を超えていた一方で、ドラッグストアでは0%であった。ドラッグストア等への働きかけが必要だと感じた。」（吉澤副代表）

・「環境にやさしい買い物スタイル」協力店も募集しています！

同協議会では、スーパーをはじめとした353店舗に協力店として登録をいただいております、更に拡げていきたいと考えています。

ご近所や地域に「レジ袋の削減」をはじめ、簡易包装の励行や容器包装の店頭回収などの環境に配慮した取組を行っている店舗がありましたら、ぜひ協力店の登録をお願いしてください。

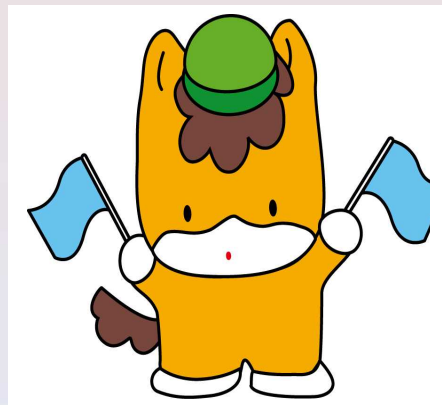
群馬県環境アドバイザー事務局担当：松原

（店頭啓発活動受付担当：古屋）

電話：027-226-2827

FAX：027-243-7702

Email：ecosusumu@pref.gunma.lg.jp



10月は3R推進月間です。マイバッグ持
参で、リデュース（Reduce）！

店頭啓発は環境アドバイザーが先頭に立って

群馬県環境アドバイザー連絡協議会
代表 須永 徹

今年も10月から「環境にやさしい買い物スタイル」を広げるための県民活動がはじまります。

この活動は消費者団体・事業者・行政が協働してレジ袋の削減を中心に、簡易包装の励行、資源ごみの店頭回収など、環境にやさしい買い物スタイルを県民に広げ、少しでもやがてゴミとなるレジ袋の削減（ひいては地球温暖化防止まで）を行っていかうとするものです。

われわれ環境アドバイザーとしては、今年は他の消費者団体に先んじ沢山の店頭啓発活動を行ってまいりたいと思います。活動の進め方は県・環境政策課より示されますので、それを良く読んで各地域での店頭啓発活動を進めて頂きたいと思います。実施に当たって部会は関係なく、環境アドバイザーであればどなたでもできるので、率先して地域の環境アドバイザーに声掛けし推進して下さい。

環境アドバイザー連絡協議会全体としては、20か所以上の店頭啓発を行いたいと思いますので、地区世話人・幹事の皆様には特に宜しくお願いいたします。

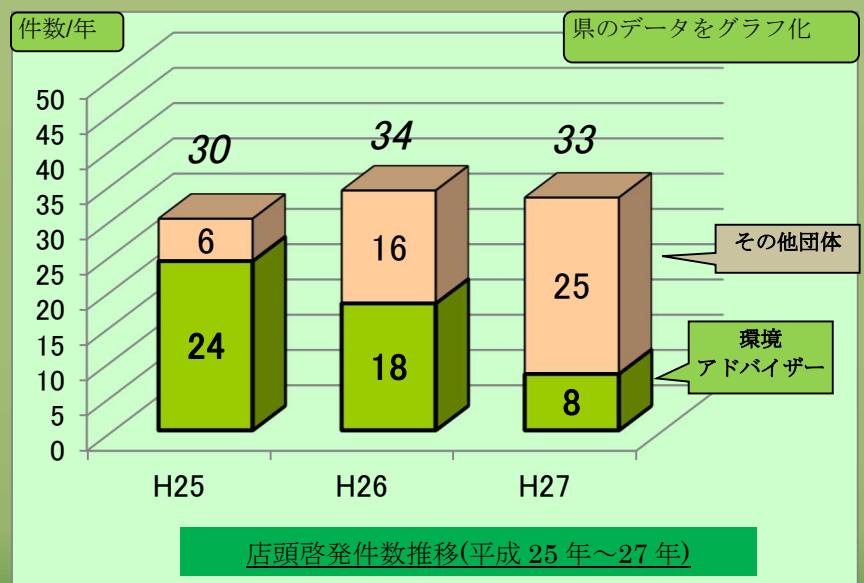
◇ マイバッグキャンペーン店頭啓発件数推移 ◇

群馬県の消費者（環境）団体、事業者、行政（県及び35市町村）の3者で構成される「群馬県環境にやさしい買い物スタイル普及促進協議会」の取り組みの一環として主にマイバッグ持参協議会協力店舗を対象に、環境アドバイザーなど消費者（環境）団体が店頭啓発活動を実施し、来客者にマイバッグ持参の協力を呼びかけています。

ここ3年の店頭啓発の件数は横ばいであり、特に環境アドバイザーによる実施件数は年々減少しています。マイバッグ持参率を向上させるため、店頭啓発実施件数を増やしていく必要があります。各地域で環境アドバイザーが相談して、店舗啓発を行いたい店舗と希望日時を決めて県に連絡し、県を通じて店舗の了解を得て実施してください。本年度はアドバイザーとして、20件以上の店頭啓発を目標に積極的に取り組みましょう。

他の消費者団体と連携して実施することも検討してください。

（環境アドバイザー副代表 吉澤 敏則）



ごみ部会だより

やっかいな使用済の油が電気になる！！

私が環境アドバイザーとして登録したのは平成 17 年ですが、何をすればよいのかと迷っておりましたら、南橘公民館で廃食用油の回収を知り、私も早速町内の自治会に提案し、各月の廃品回収日に併せて廃食用油を町内の会館（三丁目会館）まで持ち込みをお願いしました。第一回が 20 年 8 月に始まり今日まで 180 世帯で 800kg 回収出来ました。燃えるごみであった油がバイオディーゼル燃料（BDF）にリサイクルされ、さらに二酸化炭素も削減されました。

ところが、数年来 BDF を使う車種が激減し、模索の中、皆さまも新聞等でご存知かと思いますが、25 年 2 月に経済産業省から再生資源業（株）アーブが、「再生可能エネルギー発電設備」として認定されました。

ようやく本年 5 月 1 日から発電機一基が稼動しました。一日 24 時間稼動し、廃食用油を 1 トン使用することです。

最もやっかいなごみであった廃食用油が発電用燃料とし利用されるとは画期的です。

その効果は、

- （１） 発電機一基の発電量は年間 125 万 2,800kw 時で一般家庭約 350 世帯分に相当します
- （２） ペットボトル 1 リットルの廃食用油による発電量は 3.48kw 時です
- （３） 3.48kw 時はヘアードライヤー 1 時間の使用量に相当します

前橋市では 26 年 9 月から 17 箇所において拠点回収を始めました。

5 月の発電事業開始を 28 年 7 月に全地域に回覧し、市民に廃食用油回収促進を働きかけています。

環境アドバイザーの組織の力、そしてごみ部会での長年にわたるフォーラム等推進力の一翼を担えたのだと思います。

ごみ部会 福田 茂子

自然環境部会だより

外来種＜クビアカツヤカミキリ＞について

クロジャコウカミキリとも言いますが、この言い方のほうがこの虫の姿を現しています。中国などを原産地とするカミキリムシで 2012 年愛知県で発見されてから各地で見つかり、群馬県でも 2015 年に館林市で見つかりました。最新情報では高崎市の護国神社近くで幼虫の糞と木屑の混合物（フラス）が確認されています。

桜や梅、桃などを特に好み幼虫が木を食い荒らすので、桜の名所や果樹園などへの被害が懸念されています。成虫になるまで 2～3 年かかるという事で近い将来の爆発的繁殖が懸念されています。

自然環境部会長 田中 和夫



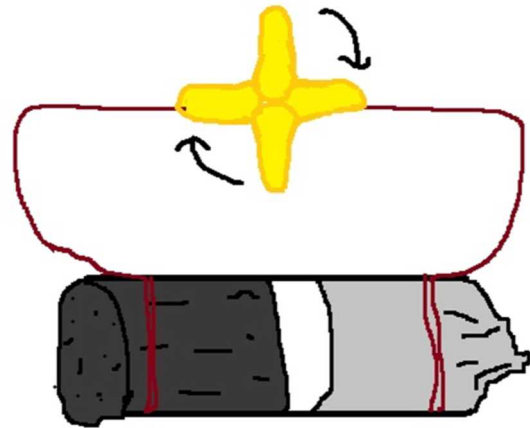
温暖化・エネルギー部会だより

夏休み企画 学童の環境学習

私たち温暖化・エネルギー部会では7月27日に前橋市大渡町の学童、カナンプレイス光の子クラブにて、地球温暖化についての環境学習を行ってきました。今年で3回目の環境学習は春から企画準備を進め、当日は17人の子供たちに会うのを楽しみにスタッフ5人で学童に行きました。

環境学習では、子供たちが身近なものに不思議を感じたり、身の回りで起きている問題に気付いたり、そしてそれらをどうしたら解決できるか、『なぜ?』を大切にしてもらいたい』を目的にプログラムを考えました。

環境学習前半では、夏休みということもあり工作（炭電池作り）をしました。はじめキャーキャーと落ち着かない子供達でしたが、炭電池作りが始まると先生役の渡さんの話に目をキラキラさせてとても集中していたのが印象的でした。どうしたら炭で電池が作れるのか?なぜ電気が流れるのか?電気が流れない子はどうしたら電気がつくのか?工夫の末、プロペラが回ったり電子オルゴールが鳴ると「やったー!!」と大盛り上がりでした。また子供たちは「こうしたらどうなる?」とグループ皆の電池をつなげたり、プロペラと土を反対につなげたりと楽しんで取り組むことができました。



環境学習の後半では、自然の素晴らしさについて、また地球に起きている問題「地球温暖化」について学習しました。1~3年生ということもあり、動物、虫、植物、うんち、空気の絵を矢印でつながら地球上の生物は食物連鎖で、物質は循環してみんなつながっていることをゲーム方式で知ってもらいました。この絵は事前に先生と子供達に準備をお願いし描いてもらった手作りゲームです。また地球温暖化により動物達が困っているこ

と、生態系や循環のつながりがどうなってしまうのか?どうして温暖化が起こってしまったか?を考えました。そして最後は群馬県からお借りした発電装置を体験し、電気を作る大変さを感じてもらいました。学童の子ども達には保護者向けに配布物も用意しました。帰宅後家族で環境学習の話をしてくれたら最高だなと思います。

今回の環境学習では、子供達がどれくらい理解できたか?や集中力が時々切れてしまうこと等課題も多々あり、私たちの役割である「地球温暖化について伝える」ことにとても勉強させてもらった1日でした。

なんだか臭いことを書いてしまいましたが、子供達の顔を見ると「あ〜、この子たちに素晴らしい未来を残してあげたい。いや、素晴らしい未来を残さなくてはいけない。私たちの便利な生活で、未来に迷惑をかけてはいけない。」と思った環境学習でした。



温暖化・エネルギー部会 梅山さやか

地域イベント情報

太田地区

(1) 平成 28 年 4 月～9 月までの実施済のイベントの内容の紹介

- ①イベント名：身近な水環境の全国一斉調査
- ②主催者：全国水環境マップ実行委員会
(国土交通省)
- ③開催月日：平成 28 年 6 月 18 日
- ④会場：太田市新田勤労会館、市内の湧水地や河川
- ⑤イベント内容：毎年同じ時期に全国の河川や水辺などの身近な水環境の水質を一斉に調査し全国の水環境マップを作成する
- ⑥環境アドバイザーの関わり方：太田市内のアドバイザー 5 名が参加



(河川や川辺の水質を分析する子供たち)

(2) 10 月～12 月実施予定の 28 年度の環境イベント内容の紹介

- ①イベント名：太田市産業環境フェスティバル
- ②主催者：太田市産業環境フェスティバル実行委員会
- ③開催予定月日：平成 28 年 11 月 13 日（日）
- ④会場：太田市新田文化会館、総合体育館（エアリス）
- ⑤イベント内容：環境団体の活動報告や啓発活動（体験）等
- ⑥環境アドバイザーの関わり方：太田市内の環境アドバイザーも所属する団体で参加



(太田地区／西村さんからの情報)

(3) 10 月～12 月実施予定の 28 年度の環境イベント内容の紹介

- ①イベント名：第 7 回おおた・まちの先生見本市
- ②主催者：おおた・まちの先生見本市実行推進協議会
- ③開催予定月日：平成 28 年 12 月 4 日（日）
- ④会場：太田市立九合小学校
- ⑤イベント内容：学校で教わらない環境、ものづくり、ライフスタイルについて、約 70 の行政、企業、NPO が出展し、普段の活動を見せ子供達に体験してもらうものです。環境アドバイザーも多数出展しています。

(太田地区／須永さんからの情報)

高崎地区

地域イベント情報

(1) 高崎地区会の前期（4～9月）実施工事（一部予定を含む）

- ① 井野川堤防周辺の清掃、除草、植栽等
6月10日、7月4日、9月9日
個人的に実施されていたが地区会の主要行事として支援、実施している。
- ② 井野川の水生生物調査による水質判定
7月24日 2005年より継続。今年は増水のため判定は困難だったが、
水質等級Ⅰ（きれい）の指標生物であるウズムシ（プラナリア）が観察された。
- ③ 井野川堤防周辺の植物観察
8月20日実施。前述の水生生物調査とセットで3年前から実施している。
時期を毎年変え、開花状況を記録し、外来植物に対する注意喚起も実施。
- ④ 春の花見として高崎市吉井町のカタクリ群生地を観察。併せて七興山古墳と桜を鑑賞した。
- ⑤ エコウォーク
9月23日、街中を歩いて町並みや景観を観察しながら歩道のゴミ拾い等を行う。

(2) 下期（10～3月）実施予定の行事

- ① 井野川堤防周辺の清掃、除草、植栽等
11月7日、12月9日、1月22日、3月13日
1月22日は地元の中学生の清掃作業の支援として行う。
- ② エコウォーク
11月25日
街中の清掃とビルの観察等を行い、町作りについて考える。
- ③ 鮭の稚魚放流会と植物観察
3月4日、和田橋付近にて。高崎青年会議所の行事を支援する形で3年前から実施。参加者が多く、環境アドバイザーのPRの場としても有効。



（高崎地区／田中さんからの情報）

実施時間や場所等詳しいことは、高崎地区／原田さん、または田中さんにお問い合わせ下さい。

問い合わせ先

:090-7259-1116(原田さん携帯)

:090-5430-6174(田中さん携帯)

28年度の群馬県環境アドバイザー研修会が開催されました

平成 28 年 9 月 7 日の午後、群馬県庁 2 階ビジターセンターにおいて 39 名の参加者のもとで開催されました。

第一部 群馬県からのお知らせ

① 廃棄物・リサイクル課から「第二次群馬県循環社会づくり推進計画」

これからの廃棄物処理及び循環型社会の実現に向けた目標

② 環境森林部・林政課から「ぐんま緑の県民税」

地域や森林環境学習の利用方法について

第二部 環境講演会 「今、私たちは何をなすべきか～」

講師 中島啓治氏（地球温暖化防止活動推進センター長）

☆副題 館林がなぜ暑いのか？

群馬県の地形的特徴からみる地球温暖化の仕組みと、今後の気候変動予測について

第一部、第二部とも活発な討議が行われ、有意義な研修会となりました。

「みんなのごみ減量フォーラム」の開催日時が決まりました！

9 月 1 日（木）に「群馬県、環境アドバイザー連絡協議会共催の「みんなのごみ減量フォーラム」の第 1 回準備会を行い、フォーラムの開催日時、会場が決定しました。

今年も、講演会、事例発表、パネルディスカッションの 3 部構成とし、ごみ減量グッズの展示も行います。現在、事例発表団体を選定中で、今後、ごみ部会、第 2 回準備会で詳細の詰めと発表準備を進めます。ごみ部会登録されてない方も積極的に準備にご協力下さい。

ご存知のとおり、群馬県は一人一日当りの一般ごみの排出量は全国でワースト 2 位であり、家庭から排出される生活系ごみは全国ワースト 1 位です。（平成 26 年度実績=環境省最新データ）フォーラムを通じてごみの減量策をみんなで考え、実行し全国ワーストの汚名を返上しましょう！

アドバイザーの方は周りの方にフォーラム参加を呼びかけ、当日は一緒に参加してください。

1. 平成 28 年度みんなのごみ減量フォーラム開催日時

平成28年11月8日(火)13時30分～16時

2. 会場 群馬県男女共同参画センター 3 階会議室

3. 内容 2R の推進によるごみ減量をテーマに、講演会、事例発表、パネル
ディスカッション、ごみ減量グッズの展示

4. 参加申し込み期間

10 月上旬～11 月 1 日（火）

※10 月上旬にフォーラムの開催案内ちらしを配付しますので、周りの方に渡して、参加を呼びかけるとともに、参加申し込みをしてください。